

〔吾妻鏡五十二〕弘長三年正月一日壬午、坵飯相州禪室相州○北條以下著布衣出仕如常、申時刻之

後各降庭上座列、左馬權頭時宗○以下九略將軍家○宗尊出御南面、土御門大納言參進、上御簾三

箇間、次進物、御劔武藏前司朝直、御調度、中務大輔教時、御行騰、沓宮內權大夫時秀、一御馬、武藏五

郎時直、岡村三郎兵衛尉、二御馬、城六郎兵衛尉顯盛、同九郎長景、三御馬、出羽八郎左衛門尉行世、同

九郎宗行、四御馬、佐佐木壹岐三郎左衛門尉賴綱、同四郎左衛門尉長綱、五御馬、相摸三郎時輔、諏方

四郎左衛門尉、二日癸未、坵飯相州御御簾、土御門大納言、御劔尾張前司時章、御調度、越前前司時

廣、御行騰、和泉前司行方、一御馬、相摸左近大夫將監時村、四方田新三郎左衛門尉、二御馬、越後四

郎顯時、糟屋左衛門三郎行村、三御馬、城六郎兵衛尉顯盛、同九郎長景、四御馬、出羽八郎左衛門尉行

世、同九郎宗行、五御馬、越後六郎實政、伊賀右衛門次郎、三日甲申、坵飯武州御御簾、土御門大納言、

御劔、中務權大輔教時、御調度、左近大夫將監公時、御行騰、太宰權少貳景賴、一御馬、相摸七郎宗賴、

安東宮內左衛門尉景光、二御馬、梶原太郎左衛門尉景綱、同五郎景方、三御馬、甲斐三郎左衛門尉爲

成、同五郎左衛門尉爲定、四御馬、上野三郎左衛門尉重義、同左衛門五郎宗光、五御馬、陸奥十郎忠時、

牧野太郎兵衛尉、

〔東山殿年中行事正月〕朔日卯刻、將軍家出御于便宜所、御烏帽子折着白御直垂、御服唐織物、○註出

御于御對面所、御供衆、御部屋衆申次、御次間、閼際ニ雜居一、同平伏多人數ノ刻ハ二當番之申次進

居テ披露之、退座ノ後、申次亦出于先所、銘々ニ披露之、退節、獻御引渡三盃并數土器載各御陪膳、御

酌御供衆勤之、三盃不殘、被召上之、數土器ハ依人數三組ニモ五組ニモシテ並置也、上一通ノ盃ニ

テ被召上被閣之時、御酌人御銚子ヲ置御前、御盃ニアル御酒ヲ總土器ニウツシテ、載四方中央

御右方ニ直シテ則一宛取載御銚子、片膝ヲ立御右方ニ扣有之砌、三職一人宛御太刀金覆持參御

禮、膝行御盃頂戴之、欲被退刻、伊勢守御服二重貫練載廣蓋持出、置管領前、謹而拜戴左手ニ御服ヲ持